期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（平成21年度において、全額収益化を行っている。）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	17,539,581	①費用進行基準を採用した業務：退職手当の特殊要因経費に係る業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：17,539,581円 （教員人件費：17,539,581円） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 退職手当の発生金額相当分を全額運営費交付金収益に計上することとしている。
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	17,539,581	
合計		17,539,581	

2　平成22年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	363,833,382	①業務達成基準を採用した業務：特別教育研究経費のうち、高等専門学校改革推進経費及び国費留学生に係る経費に係る業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：363,833,382円 （教員人件費：16,127,939円、職員人件費：46,444,454円、教育・研究経費：291,810,973円、教育研究支援経費：8,435,000円、一般管理費：1,015,016円） イ）固定資産の取得額：車両運搬具：5,289,900円、工具器具備品：26,793,752円 ③運営費交付金の振替額の積算根拠 年度計画の予定どおりに教育研究活動が進行し、十分な成果を上げたと認められることから、当該業務に充てられる運営費交付金の計画額の全額を運営費交付金収益及び資産見返運営費交付金に計上した。
	資産見返運営費交付金	32,083,652	
	建設仮勘定見返運営費交付金	—	
	特許権仮勘定見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	395,917,034	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	53,460,562,451	①期間進行基準を採用した業務：業務達成基準及び費用進行基準を採用した業務以外の全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：53,452,539,175円 （役員人件費：95,214,294円、教員人件費：34,497,109,836円、職員人件費：16,308,914,870円、教育・研究経費：1,354,875,317円、教育研究支援経費：96,916,378円、一般管理費：1,044,098,240円、臨時損失：27,705,120円） イ）固定資産の取得額：建物：1,916,332,405円、構築物：233,374,570円、船舶：786,975円、工具器具備品：1,106,982,009円、特許権：65,550円、ソフトウェア：87,299,100円、建設仮勘定：162,793,500円、特許権仮勘定：9,743,438円、敷金・保証金：320,000円 ③運営費交付金の振替額の積算根拠 運営費交付金収入のうち、特別教育研究経費及び退職手当等の特殊要因経費を除いた金額相当分を全額運営費交付金収益、資産見返運営費交付金、建設仮勘定見返運営費交付金、特許権仮勘定見返運営費交付金及び資本剰余金に計上することとしている。
	資産見返運営費交付金	3,344,840,609	
	建設仮勘定見返運営費交付金	162,793,500	
	特許権仮勘定見返運営費交付金	9,743,438	
	資本剰余金	320,000	
	計	56,978,259,998	